

[概 要]

市民表彰は、大阪市表彰規則に基づき、昭和 41 年にその基準を定め、毎年 1 回実施している。

表彰は、公益の増進、産業の振興、学術、文化の向上などに貢献し、顕著な功績のあった方、又は市民の模範となるすぐれた善行のあった方を広く市民に顕彰することを目的としている。

[表彰を受けられる主な方々]

○文化功労部門

・有栖川 有栖さん

多年にわたり、大阪を中心とする関西が舞台の本格ミステリーを書き続け、天王寺七坂を題材とした幻想的な怪談も執筆するとともに、在阪テレビ局のドラマや劇団に作品を提供するなど、大阪の文芸文化の振興と発展に貢献した。

・飯倉 洋一さん

多年にわたり、江戸時代後期の読本「雨月物語」の作者、上田秋成の研究をはじめとする近世中期の大阪文学研究を重ね、日本近世研究をリードするとともに、後進の育成にも力を注ぐなど、大阪の学術文化の振興と発展に貢献した。

・杵屋 勝之弥さん

多年にわたり、歌舞伎の音楽として成立した長唄の唄方として、数多くの舞台に出演するなど、伝統ある長唄の継承と普及を図るとともに、後進の育成にも力を注ぐなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・呉本 俊松さん

多年にわたり、関西を中心に活動を続け、現在は都市での日常生活に寄り添う人物像をテーマとした人物彫刻で独自の世界を開くとともに、大阪市内のギャラリーを中心に個展を開催するなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・内藤 裕敬さん

多年にわたり、一貫して大阪を拠点に南河内万歳一座の作・演出を手掛け、関西の演劇シーンをけん引するとともに、近年は教育者として、演劇の振興に尽力するなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・林 幸治郎さん

多年にわたり、路上で宣伝を行う「ちんどん屋」として活動するとともに、即興劇「にわか」の実演を行い、滅びかけている芸能の復活にも意を注ぐなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・宮川 彬良さん

多年にわたり、作曲家、編曲家、ピアニストとしての活動を通じて日本の音楽愛好家の裾野を広げるとともに、平成26年から大阪市音楽団の音楽監督を務めるなど、大阪の芸術文化の振興と発展に貢献した。

・宮本 憲一さん

多年にわたり、大阪を一つの重要な研究フィールドとして、大規模な地域開発とそれが生み出した公害や都市行財政を総合的にとらえる共同研究などに取り組み、大阪の学術文化の振興と発展に貢献した。

・村田 路人さん

多年にわたり、日本近世史学者として、大坂町奉行所の摂河の支配の仕組みや淀川などの治水のあり方に関する研究を重ねるとともに、緒方洪庵の全集刊行に尽力するなど、大阪の学術文化の振興と発展に貢献した。

をはじめ計 63 名を表彰する。